

番 号	1	事業名	防鳥用ネット無償貸与事業
-----	---	-----	--------------

① 何の／誰のために、どのようなことをしていますか？

有害鳥獣(カラス等)により可燃ごみが飛散する被害を防止するため、3世帯以上が利用する可燃ごみの収集拠点を対象に、当該拠点の所在する地域の代表者へ防鳥用ネット(以下「ネット」と言います。)を無償で貸与しています。

1年間の貸与期間経過後は、地域へ無償で譲渡します。

② この事業によって、どのような効果・成果がありましたか？

有害鳥獣により可燃ごみが飛散する被害が軽減しました。

また、無償貸与の申請に向けて地域で話し合う過程で、これまでは収集拠点に隣接する住民だけが困っていた状況を地域で共有することができ、すべての利用者が被害の軽減に向けて協力するようになりました。

③ 手数料収入をどれだけ・どのように使っていますか？

	ネット購入費	購 入 量
平成30年度	324千円	大 100枚、小 100枚
令和元年度	324千円	大 100枚、小 100枚

※各年度、4社から見積書を徴取し、最も安価な業者から調達しています。

④ 具体的な仕事の内容は、どのようなものですか？

- ① ネットを購入します。(見積依頼、見積徴取、契約、納品検査)
- ② 地域長会議や広報紙により、募集します。
- ③ 申請を受け付けます。
- ④ 申請書を審査し、貸与を決定します。
- ⑤ ネットを交付します。

⑤ 市民(利用者)の声はどうか？

可燃ごみの飛散防止に効果があったとの声が多くあります。

効果の口コミにより、地域全体での利用につながった事例があります。

⑥ 事業費・指標はどのように推移していますか？

		平成30年度	令和元年度		
			実績	前年比	
事業費(千円)		324千円	324千円	100%	
指標	貸与拠点数	43箇所	44箇所	102%	
	貸与枚数	大	20枚	19枚	95%
		小	28枚	27枚	96%

注1) 平成30年12月3日から受付を開始しました。(実質4カ月)

注2) 令和元年度の実績は、10月末時点の実績です。(実質7カ月)

⑦ これまでに、どのような見直しを行いましたか？

見直しは行っていません。

⑧ どのような課題がありますか？

市内には約800箇所のごみ収集拠点があることから、事業の計画段階では約8割がネットを必要とし、毎年200箇所程度の需要があると見込んでいました。

需要見込と比較して、利用状況が低調です。

⑨ 今後の予定は、どのようになっていますか？

事業は継続して実施します。

ただし、調達したネット400枚に対し、貸与したネットが94枚(10月末時点)であり、約3/4が在庫となっています。

このため、令和2年度は新たな調達を見送り、在庫の推移を反映して発注するものとします。